

# 陸平通信

OKADAIRA 2024年6月1日発行  
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359  
美浦村文化財センター（陸平研究所）  
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471  
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

第Ⅱ期 118号



ゴールデンウィーク中の5月3日・4日、陸平貝塚公園では新緑の陸平貝塚で楽しんでもらおうと体験イベント「縄文体験の日」を開催しました。文化財センターでは、縄文土器や縄文クッキー、まが玉、どんぐり工作などの体験を、陸平貝塚の復元竪穴住居では火おこし体験を、里山交流館では手軽に炭焼きを体験できる花炭体験をおこないました。また陸平貝塚見学ツアーでは、散策しながら陸平貝塚を巡りました。訪れた人たちは、好きな体験にじっくりと取り組んだり、2日間かけてさまざま体験を楽しんだり、家族や友だちとのんびりとすごしている様子うかがえました。天気にも恵まれ、村内はもちろん、県外からの来館者もあり、陸平は賑わいました。

体験イベントは夏休みや秋にも開催します。どうぞお楽しみに！



▲花炭



▲縄文土器作り



▲縄文服を着てまが玉作り

やさし風土と自然の恵み伸びる文化の美浦の里 (日和吟社俚謡集より)

# ヤ遺跡

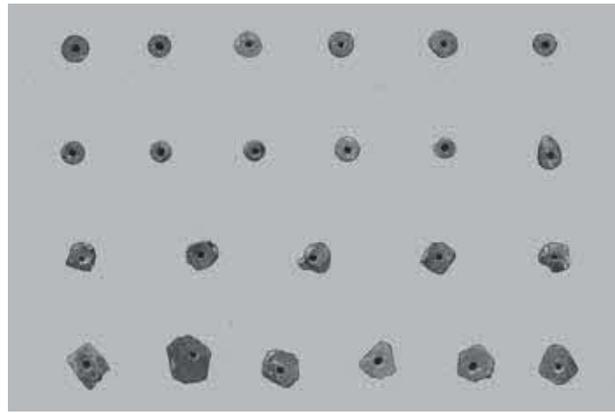
## 滑石製品

ミコヤ遺跡からは、木の根田遺跡と同様に、祭祀や装飾に用いられたと思われる、滑石（ろう石のような軟らかい石）で作られた小形の石製品が出土しています。滑石製品の代表的なものは、鏡を模したといわれる円板形のもの、剣を模したとされるもの、白玉といわれるビーズ状の小玉、勾玉などですが、木の根田遺跡では円板形や剣形のものが多かったのに対し、ミコヤ遺跡では白玉が多量に出土しました。複数の住居跡からは、材料となる滑石の大きな石塊や、つくる時に出土した石片、つくりかけの未成品が大量にみつかり、ミコヤ遺跡の家々で滑石製品が作られていたことが分かります。

白玉が作られていた第7号住居跡では、残されていた石片が集中する箇所が2ヶ所（ブロックI、II）認められ、ブロックIIはさらに3つのまとまりに分かれそうです。これらをよく調べてみると、集中部によって残されている石片の種類が異なっていることが明らかになりました。白玉は大きさがおおよそ0.6cm以下の、全面が研磨され、孔が開けられた小玉ですが、ブロックIでは研磨が施されていない大きめの石片しか見られないのに対し、ブロックIIでは完成品の大きさに近い、両面が研磨された石片や、それに孔を開けた未成品が多くみられました。

この集中部の違いは、白玉の製作工程の違いを示しているものと思われます。また、ブロックIでは、石を割る時に出る小さな石屑がみられないことから、素材となる石片を取り置きしていたもの、ブロックIIに認められる3つのまとまりは、製作を何回も繰り返していたことを示しているのかもしれません。

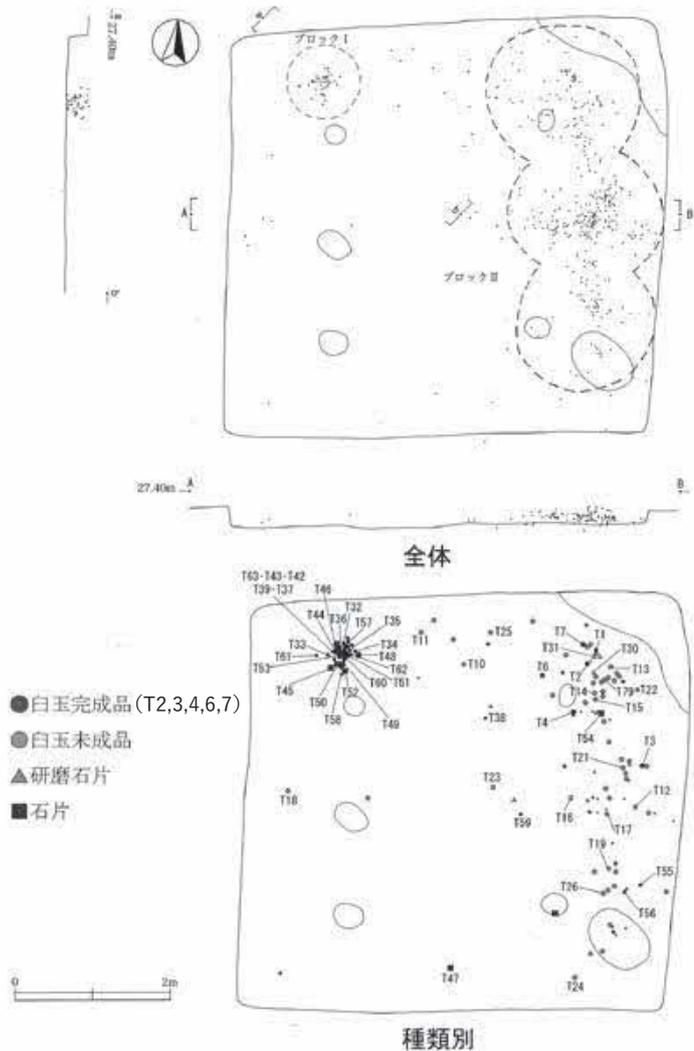
一方、第3号住居跡では、床面に掘られた浅い小穴の上に残された径45cm程の白い粘土の塊の中から白玉の研磨途中の未成品が集中して出土し、第4号住居跡では浅い小穴の中に、細かい石屑が詰まった状態が確認されています。このことは、浅い小穴や粘土が白玉の製作に関わっていたことを想像させます。



白玉及びその未成品



重さ5kg弱の大きな滑石塊



第7号住居跡滑石分布図

★現在、文化財センター展示室では、ミコヤ遺跡を紹介しています！

# 遺跡発掘情報！ミコ

## ミコヤ遺跡

美浦村の安中地区では、安中地区総合開発（ゴルフ場造成）に伴い、陸平貝塚の保存とともに、前回展示紹介した木の根田・内出遺跡をはじめ、数多くの遺跡が発掘調査されました。これらの遺跡はお互いに何らかの関係のもと残されたと考えられることから、「陸平遺跡群」と呼ばれています。平成4年に発掘調査されたミコヤ遺跡もそのうちの一つで、最近、長い年月を経て調査成果をまとめた報告書が刊行されました。ミコヤ遺跡では発掘によって、縄文時代から平安時代に及ぶ人々の痕跡が確認されましたが、ここでは、竪穴住居跡 21 軒が検出された古墳時代中～後期（約 1,500 ～ 1,600 年前）についてご紹介します。



ミコヤ遺跡の位置

## 希少な出土品（鉄器と須恵器）

まず、ミコヤ遺跡から出土した希少な遺物としては、農具である鋤・鍬の鉄製刃先と、須恵器があげられます。鉄器は、前の弥生時代から使われはじめましたが、古墳時代になっても、原料の多くを大陸から入手するしかなく、まだまだ貴重なものでした。現在の鋤や鍬は、柄以外の部分が全て鉄で出来ていますが、当時は鉄製の刃先のみをはめ込む形のものでした。第 20 号住居跡からは、完全な形の鍬・鋤の刃先 2 枚が、錆でくっついた状態で見つかっています。

須恵器は、窯を用い高温で焼かれた灰色をした堅緻な土器で、その技術は朝鮮半島から伝わったものです。当時は関東地方ではほとんど生産されておらず、畿内や東海地方から持ち込まれたものと思われます。そのため当地域からはごく僅かしか出土していません。ミコヤ遺跡から出土した須恵器にはお椀形の甗をはじめ、「甗」と呼ばれる液体を注ぐ器、供物などを載せる器台など、珍しい形のものもみられます。陸平遺跡群で見ついている古墳時代集落跡の中で、ミコヤ遺跡は入手困難な鉄器や須恵器の出土量が特に多く、他のムラに比べて有力な政治・社会勢力との結びつきが予測されます。



鋤・鍬の鉄製刃先



須恵器の「甗」

# 文化財センター夏の体験のおしらせ

開催場所は文化財センターです！

■ 昔の暮らしを知る体験 ■

**第1回 木綿～綿から糸を紡ぐ～**

【日時】 7月20日(土)  
10時～12時

【募集人数】 6名(小5以上)

【要申込】 6月30日まで  
※定員を超えた場合は抽選  
※小学生は大人同伴

■ 昔の暮らしを知る体験 ■

**第2回 絹糸～繭から糸をとる～**

【日時】 8月3日(土)  
13時～16時

【募集人数】 6名(小5以上)

【要申込】 6月30日まで  
※定員を超えた場合は抽選  
※小学生は大人同伴

**縄文クッキー作り**

【日時】 8月18日(日) **申込不要**  
10時～15時  
※最終受付は14時

【体験料】 300円  
※食材にアレルギーのある方はお控え下さい。

**さき織り**

【日にち】 8月14日(水) 15日(木)  
16日(金) 21日(水)  
22日(木)

【時間】  
午前(10時～12時)  
午後(13時30分～15時30分)

【募集人数】 各回2名(小4以上)

【体験料】 500円

【要申込】 7月2日～(先着)

**気軽に考古学体験!**

【日時】 8月20日(火)  
13時30分～  
15時30分

【集合】 13時20分 **申込不要**

【内容】  
貝塚の貝を調査&拓本  
(土器のもようをうつし  
とろう)



**縄文土器・土笛・まが玉  
どんぐり工作(時計、カレンダー)**

【日時】 8月23日(金) 24日(土)  
10時～16時 **申込不要**  
※最終受付は14時

【体験料】

- 縄文土器(800円、400円)
- 土笛(300円)
- まが玉(300円)
- どんぐり時計(500円)
- どんぐりカレンダー(200円)

## 古文書の所在調査をおこないます

県立歴史館と市町村教育委員会では、各家庭や地区などが保管する古文書などの歴史資料の現状を確認するための調査を、合同で全県的に実施しています。今年度は県南地域で『茨城県史』や『美浦村誌』等の編さん事業において、以前資料調査をさせていただいた所蔵者の方を対象に、今秋アンケート調査を行わせていただきます。

本調査は、散逸や防犯などから貴重な文化財を守るとともに、災害が発生した際の基礎情報となる重要な調査です。どうぞご協力をお願いいたします。

<情報をお寄せください!>

**美浦村の歴史に関する資料を探しています**

文化財センターでは、地域の歴史に関する資料を収集・保存し、後世に伝える活動を行っています。

美浦村の歴史に関する古文書や絵図、地図、写真、古い襖(古文書が使われている場合があります。)などがありましたら、お気軽に文化財センターへご一報ください。

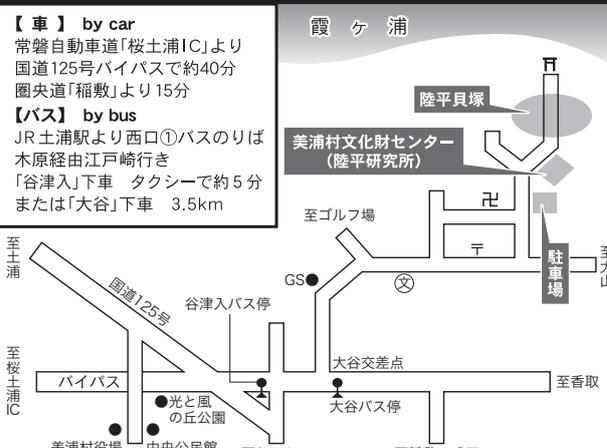
また、鹿島海軍航空隊に関する体験や写真、情報などもお寄せください。お待ちしております。



**陸平貝塚公園までの交通アクセス**

【車】 by car  
常磐自動車道「桜土浦IC」より  
国道125号バイパスで約40分  
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus  
JR土浦駅より西口①バスのりば  
木原経由江戸崎行き  
「谷津入」下車 タクシーで約5分  
または「大谷」下車 3.5km



◆お問合せは、文化財センターへ  
☎029-886-0291